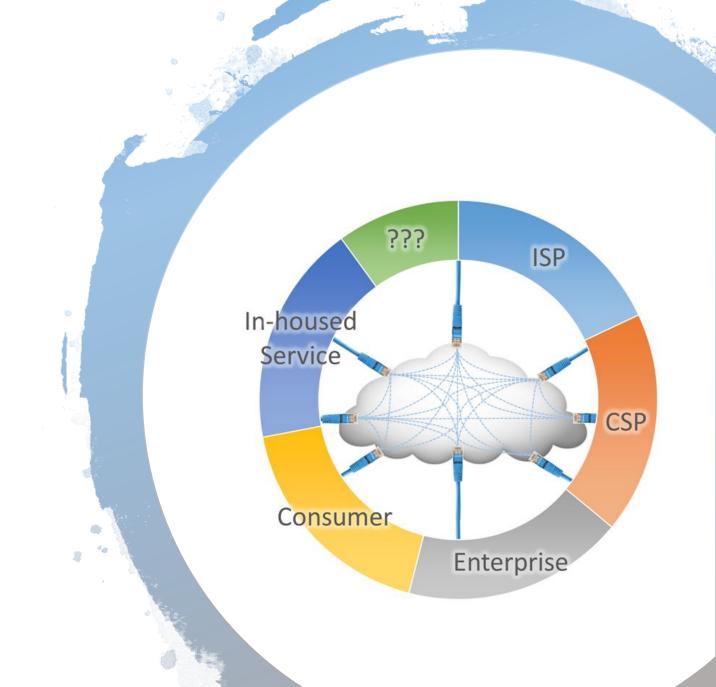
Internet & Core Network

SoftBank



本日の内容

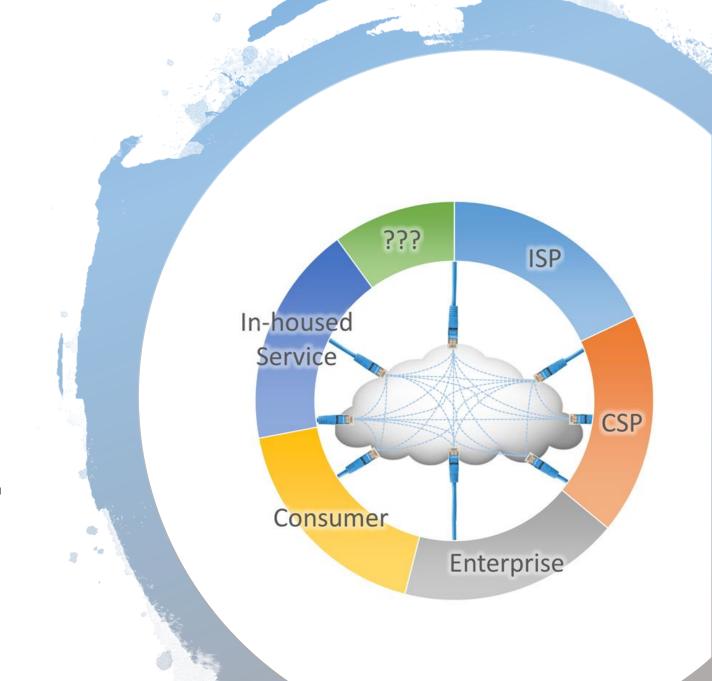
- 1:インターネットPE 設計思想
 - ・ 効率化を意識した、小型化、多重化、ポリシー統一化

- 2:インターネットトラフィック動向
 - ネットワーク構成とイベントトラフィックについて

- 3:コアネットワークの進化
 - シンプル化と信頼性を意識した、コアネットワークの今後

360°Design 設計思想

SoftBank Internet Service Dept.



自己紹介

● 名前:外山 慎一 (Shinichi Toyama)

● 所属:インターネットサービス部

● 仕事:インターネットサービスエッジ設計~構築

● 出身:宮崎県宮崎市小松 ※九州大好き

SoftBankの歴史

ロ 時代の流れ、技術の進化は、早い



Network Requirement

Access	ADSL	FTTH & Mobile
Group ISP	YAHOOBB ODN = AS17676 AS4725	SoftBank

Network Technology

Interface	1GbE	10GbE	100GbE
Topology	OSPF/BGP	OSPF/BGP/MPLS	SR

本日のテーマ

ロ時代の流れ、技術の進化は早く、エンジニアの考えることは、広がり、増えている ロ品質の維持、向上のために、さらに効率的な(楽な)ネットワークを構成したい

激増するトラフィック対応 & ネットワークの拡大

既存設備の維持、老朽化対応 & 品質向上

新サービス、新技術の導入 & 品質向上

Mobile



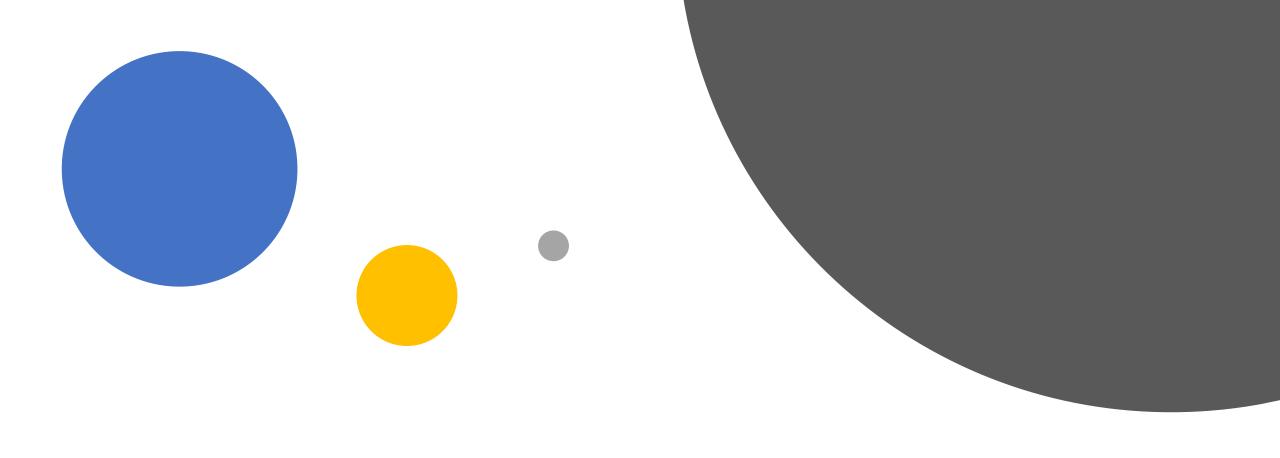




Area

Server Firm

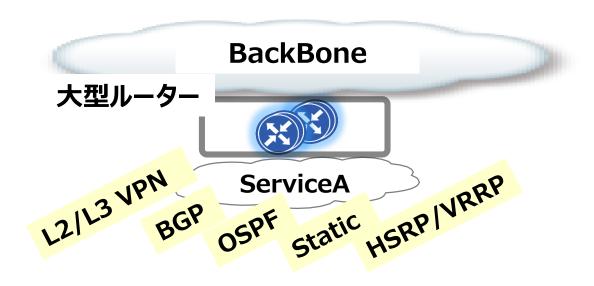
効率的に(楽に)、品質を向上しつつ拡大したい



小型化+多重化

近年

口近年、1台のPEにかかる負荷は、増加している

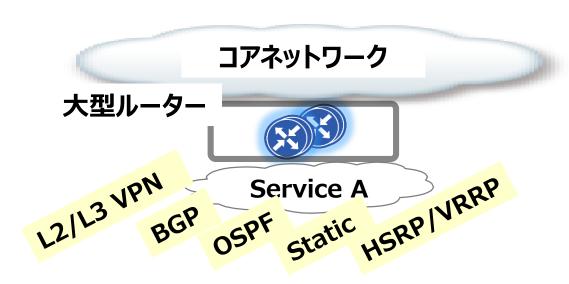


内容	傾向	感じていること	補足
トラフィック	激増	ユーザ影響の考慮	
収容数	増加	メンテナンス作業負荷の増加	
設計ポリシー	複数+複雑	メンテナンス作業負荷の増加	接続相手に依存

メンテナンス作業効率化

ロメンテナンス作業の例

- 障害対応
- Version UP
- HW EoLに伴うHW交換作業



> 作業は・・・結構大変

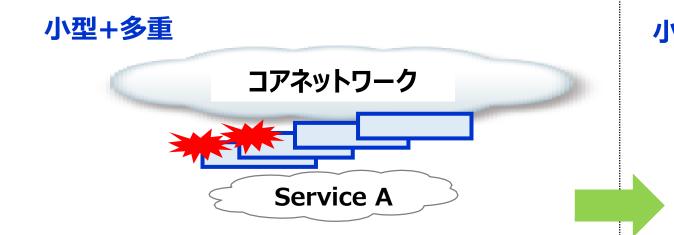
- ・ 接続先への通知
- ・ 収容ポリシーに合わせた、慎重な迂回、迂回戻し
- ・ 冗長が失われた場合に、即座に戻すことが必要
- 影響を最小限に、慎重に作業
- ・ 夜間のメンテ時間内で実施(ギリギリ)



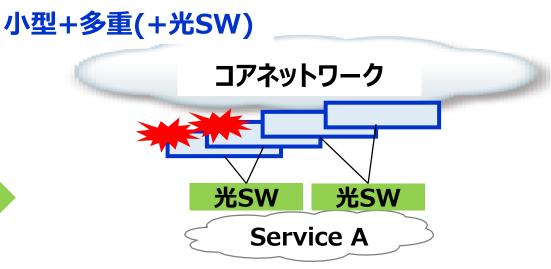
小型化(分散)、多重化で効率化する?

メンテナンス作業効率化

- ロ 小型化、多重化で、余裕を持った運用
 - 2~3台の障害や、メンテナンスはOK
 - メンテナンスは、ゆっくり実施



接続相手が、多重接続NG Main/Backのみ



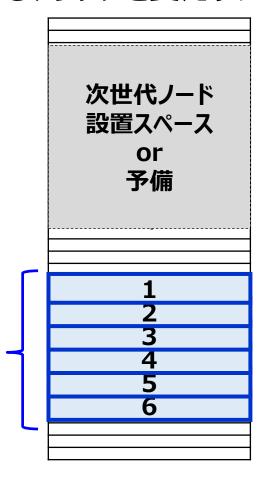
光SWの導入も検討中

ファシリティー面

- ロ 省スペース、省電源
- ロ 数年後のスムーズな世代交代も、ラックを変えずに対応



- ・ 1人でも容易に持運び可能
- ・ 省スペース
- · 省電源 100V

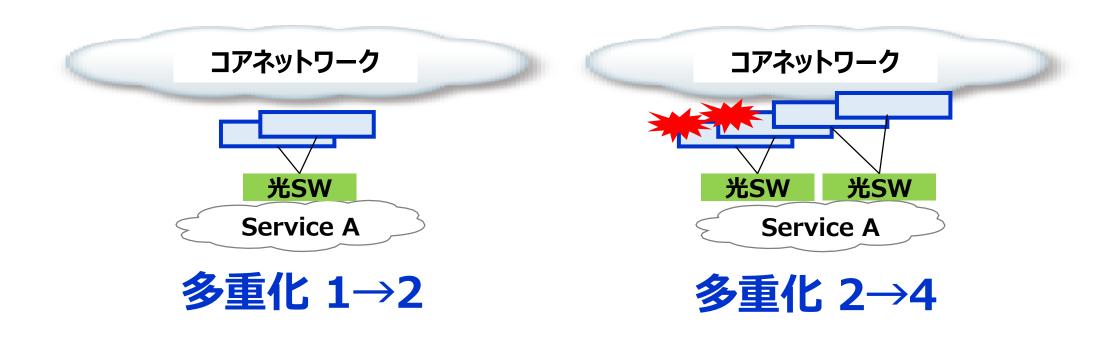




光SWの利点

ロ なぜ、光SWなのか

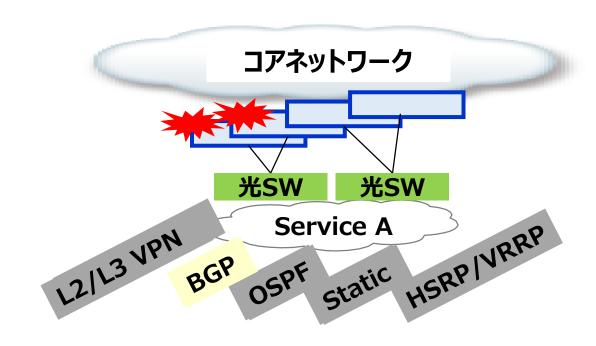
- ▶ ルータと比べると、メンテナンスほぼ不要、かつ高信頼性
 - ・ コントロールボードや電源障害時のサービス影響なし
 - ・ 単純な作りのため、不具合や故障リスクはかなり低く、ライフタイムが長い(半永久)



収容ポリシーの統一

収容ポリシーの統一

- ロ 様々な理由で、複数のポリシーは存在
- ロ 統一できるのが理想



Point!

- 多重に接続して制御可能か?
- 自由度はあるか?
- ・迂回は容易で、影響は小さいか?
- ・ シンプルに、柔軟に制御が可能か?

統一できるのか?を考えることが大事

統一化のメリットの一例

- ロ 運用、作業が自動化しやすい
 - > 複数のパターンを考慮する必要がない



自動化する場合、この工程を、パターン毎に行う必要がある

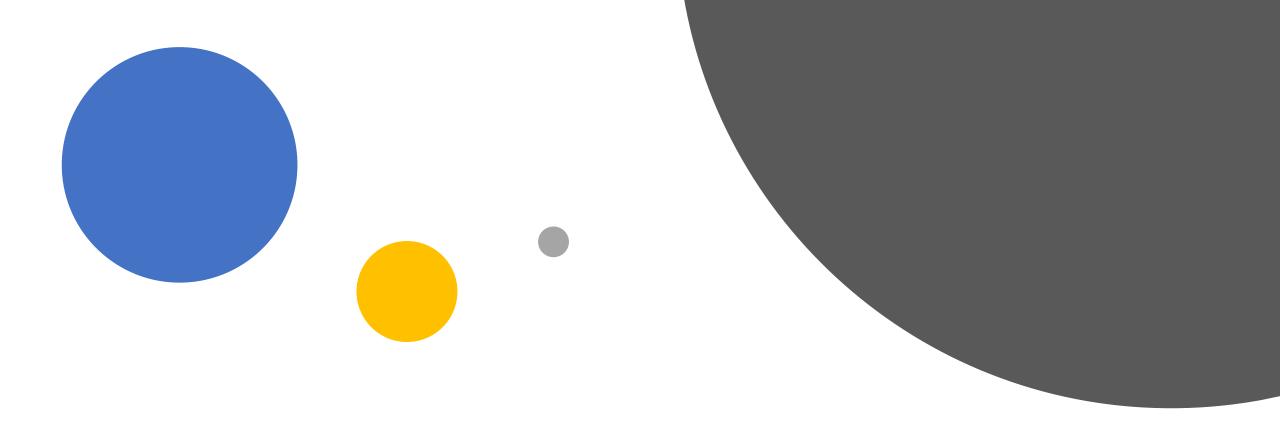
・ 障害検知、メンテナンス作業など、自動化したいものそれぞれで

標準化

設計ポリシ整理と、そのポリシ毎に内容を精査し標準化

自動化+検証

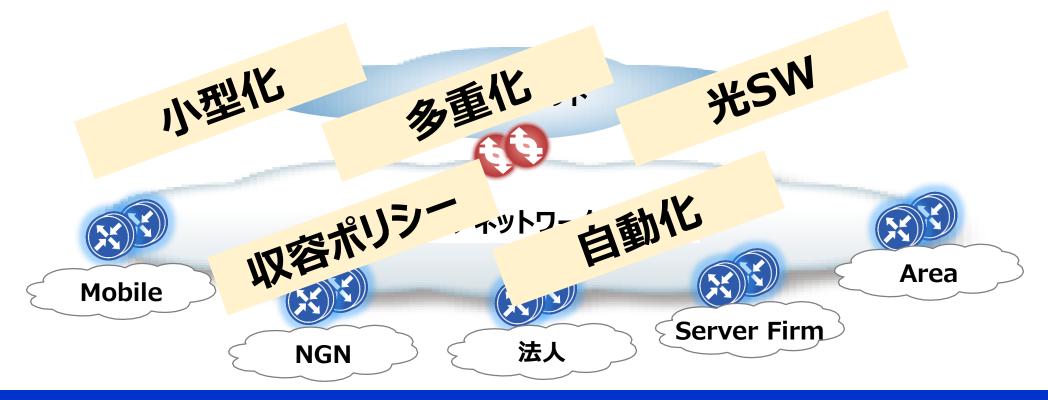
標準化したパターンの、自動化プログラム作成とラボ検証



最後に

最後に

ロ時代の変化、技術の進化は早く、エンジニアの考えることは、広がり、増えている ロ品質の維持、向上のために、さらに効率的な(楽な)ネットワークを考える必要がある



将来を考慮し、効率的で品質の高いネットワークを構成する

EoF